



持続可能な
インパクトを
生み出そう



地区大会報告

会長・幹事

10月20日 (火)
N03101 第 10 回例会



例会案内 「10月～11月」例会案内

- 10月20日(火) 地区大会報告 (経済センター)
- 10月27日(火) ロータリー情報① (夜間)
- 11月 3日(火) 法廷休会
- 11月10日(火) 例会運営委員会担当例会
- 11月17日(火) クラブ奉仕委員会

出席報告 10月6日例会

総会員数 27名
欠席者数 11名 石川, 井上, 津田, 吉居
武田, 遠藤, 圓淨, 佐々木, 島田, 樋口, 山脇各会員
出席率 59.62 %
前々ミーキャップ 0名
前回修正出席率 85.19 %

前例会幹事報告 清水幹事

- 昨年度地区大会記録誌の送付
- 芦別 RC 会報・例会案内
- 地区大会 10 日 11 日 7 時間カンパニュ集合

10月の会員祝福

■■■■■■■■■■ 会員誕生 ■■■■■■■■■■
飛弾野 P 会長 昭和 47 年 10 月 16 日
■■■■■■■■■■ 夫人誕生 ■■■■■■■■■■
井上利恵様 10 月 7 日
■■■■■■■■■■ 結婚記念 ■■■■■■■■■■
清水幹事 平成 16 年 10 月 2 日
廣上会員 平成 13 年 10 月 20 日
■■■■■■■■■■ 創立記念 ■■■■■■■■■■
大西 道祥 PAG 昭和 25 年 10 月 12 日
津田会員 平成 24 年 10 月 1 日
島田敬嗣会員 大正 15 年 10 月 25 日

会長報告

木村 喜芳会長

皆様こんばんは、通算 3110 回、本年度第 10 回の例会を開催いたします。本日は、財団米山委員会担当例会です。成田昭彦委員長宜しくお願い致します。ここで本日の例会を年次総会に切り替え会長の私が議長になることを承認いただきます。承認の方は挙手願います。賛成多数とみなします。では、次期役員理事指名委員会を設立することを議案として上程します。承認頂けます方は挙手願います。賛成多数とみなします。ご協力ありがとうございました。

さて、深川では稲刈りが終わり、新米を召し上がった方も多いのではないのでしょうか。私は、納内の同級生が作っているゆめぴりかを新しい精米方法のうまみ白米で大変おいしく頂きました。

うまみ精米とは、株式会社タイワ精機と井関農機株式会社が共同開発した精米技術です。お米のうまみ層である、でんぷん層とぬか層の間にあるアミノ酸やオリゴ糖などの豊富な部位で、お米のうまみに関与する層で、食味鑑定値で 5 % 程、食味の向上が得られるようです。ご興味ある方はお試しください。

以前は印刷物として発行されていたガバナー月信は現在、データでの配信となって居り、やはり目にする機会が減っているのが現実です。地区から会員に是非見てもらうよう通知がありましたので、10 月のガバナー月信の一部を印刷してわずかですがテーブルに置きました。次に残念なお知らせです。以前深川クラブでも卓話して頂いた、塚原房樹パストガバナーがご逝去されました。札幌東ロータリークラブに所属され、地区職業奉仕委員長や 2025.26 年度には地区ガバナーをされました。謹んでお悔やみ申し上げます。

スマイル BOX

126,000 円

飛弾野 P 会長 誕生日
廣上会員 結婚記念日
大西祥太 AG 早速



成田昭彦 RC 財団・米山記念奨学委員長卓話

今日はまず、米山奨学金の「学友」についてお話しします。学友というのは、奨学金を受けて卒業した留学生の皆さんが入る会で、日本国内には33の学友会があります。さらに海外にも広がっていて、台湾や韓国などにも米山学友会ができており、卒業生が現地でも留学生支援を続けています。つまり、かつて日本で学んだ留学生が、今度は自分の国で新しい留学生を支える側に回っているという、とても良い循環が生まれているわけです。

これまで学友からロータリークラブの会員になった方は316名ほどいらっしやいます。その中にはクラブ会長を務めた方もいますし、さらにガバナリーになった学友も複数おられます。韓国、台湾、インドネシアなど、各国で学友がロータリーの中心的役割を担っているというのは、本当に誇らしいことだと思います。

また、学友の皆さんから日本への寄付も多くいただいています。中国、台湾、韓国の学友から「恩返し」として寄付が届いており、特に東日本大震災の時には台湾の学友会からいち早く支援が届いたことをよく覚えています。こうしたつながりが長く続いているのは、米山奨学金の大きな成果だと言えるでしょう。

今月は米山月間ということで、特別寄付としてお一人1万円のご協力をお願いしています。どうぞよろしくお願いたします。

続いて、ロータリー財団についてお話しします。来月はロータリー財団月間で、こちらも寄付のお願いをする時期になります。ロータリー財団の使命は、世界の健康や教育、貧困問題の改善、そして平和の推進です。具体的には、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、教育と識字率向上、地域経済の発展という六つの重点分野があります。

財団の代表的な活動としては、まずポリオ根絶のための「ポリオプス」があります。長年取り組んでいる活動ですが、パキスタンとアフガニスタンでは紛争が続いているため、ワクチン接種が難しく、まだ数十人から百人規模の患者が残っています。財団はこの活動に多額の資金を投じており、世界的な課題として継続して取り組んでいます。

また、平和フェローシップや地区補助金プログラムも財団の重要な事業です。地区補助金は奉仕活動や奨学金に使われていて、深川からも過去に2名の学生がイタリヤとイギリスへ留学しています。これらはすべて申請が必要で、前年度の役員が手続きを行う仕組みになっています。

財団への寄付は「年次寄付」と「恒久基金寄付」に分かれ、寄付金は3年間留保された後、地区とグローバル事業に配分されます。寄付額の半分は地区に戻り、残り半分は世界的補助金事業に使われます。

米山記念奨学会の創始者

事業の原点

日本のロータリーの父

米山 梅吉氏 (1868-1946)

- ・ ポール・ハリス氏と同じ1868年生まれ
- ・ ダラスRC会員の福島喜三次氏と米国で出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立
- ・ 日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立



ロータリー財団は創設100周年を迎えようとしており、創設者アーチ・C・クランプの「人は自分のためだけに生きるべきではない。人に良いことをする喜びのために生きるべきだ」という言葉が紹介されています。財団は100年にわたり世界で善行を積み重ねてきた組織であり、未来の世代のためにより良い世界を築く活動への支援をお願いしています。

最後になりますが、来月のロータリー財団月間では、お一人100ドルの寄付をお願いしています。現在の円安状況では約1万6000円ほどになりますが、米山奨学金も財団も寄付金控除の対象になりますので、ぜひご協力をお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

深川
RC

例会運営委員会

委員長 佐々木弘有
副委員長 轡田光章

会長 木村 喜芳
幹事 清水 秀晃

会長エレクト 平瀬 文男
副幹事 山腋 康弘

副会長 森 隆江
会計 廣上 晃士



深川
RC

■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
プラザ深川3F Tel (0164)34-6228
■URL <http://mypage.fukanavi.com/rotary/>

■例会日 毎週火曜日
■第2510地区第1グループ

■Mail fukagawa-RC@club502.jp